

3年

国語

気持ちを文章にする

3年 組

名前

❶ 冬休みの出来事とそのときの気持ちを文章にするということについて話しています。

❶〜❷の()に当てはまる言葉を
❸からえらんで書きまじょう。

❶ 読む人が(様子)や気持ちを思い(う)かべられる(ように、言葉を(えらんで)文章を書く。

❷ 書き終わったら、ないようが(つたわる(ような(題名)を)考える。

❸ 友だちと(読み合って)、よくつたわる部分と(そうでない)部分を教えてもらう。

❹ 友だちの文章を(読むとき)には、どのような言葉で(表している)のかに気をつける。

読み合って・つたわる・表している様子・そうでない・読むときうかべられる・題名・えらんで

同じ言葉は一度しか使えないよ。



❷ がっしょうコンクールのお話です。

❶〜❸の()に当てはまる言葉を
❹からえらんで書きまじょう。

❶ ミオは(ぴかぴか)のぶたいを歩いて、ピアノの前まで進んだ。

❷ ミオは(そっと)息をはいたあと、ピアノのけんばんに(ふれた)。

❸ ミオのピアノに(合わせて)、クラスみんなが(すてきな)歌声をひびかせた。

❹ 歌声を聞いて、かんきやくの心は(おどった)。
❺ がっしょうが終わると、かんきやくは(せいっぱい)のはくしゅをした。

❻ 次のクラスのレンは、心を(落ち着かせて)出番を待った。

おどった・落ち着かせて・そっと・すてきなせいっぱい・ぴかぴか・合わせて・ふれた

❶〜❸の()に読みがなを書きまじょう。

❶ 油田 (ゆでん) ()
油虫 (あぶらむし) ()

❷ 屋上 (おくじょう) ()
屋根 (やね) ()

❸ 重病 (じゅうびょう) ()
重荷 (おもに) ()
休息 (きゅうそく) ()
鼻息 (はないき) ()

❹ 汽笛 (きてき) ()
横笛 (よこぶえ) ()

